

北陸地方整備局
立山砂防事務所

資料配付

配布
日時

平成21年6月1日

件名：「平成21年度土砂災害防止功労者表彰」
について

本年度の「土砂災害防止推進の集い（第27回全国大会）」が、6月2日（火）に山梨県甲府市で開催されます。その大会内において、故藤川卓爾氏が土砂災害防止功労者として表彰されることとなりました。

故藤川医師は、立山カルデラ砂防工事の最前線基地がある水谷平において、10年間もの長きにわたる地道な診療活動に就かれ、その功績がまことに顕著であることから北陸地方整備局が推薦していました。

取扱い 本資料の配布を持って解禁

配布場所
・県政記者クラブ
・業界紙（実業建設新報社）
・北日本新聞立山支局
・富山新聞中新川支局

問い合わせ先
国土交通省北陸地方整備局
立山砂防事務所
副所長（技） 高橋 裕史
調査品質確保課長 浅井 誠二
TEL：076-482-1111（代表）
FAX：076-481-1426

平成21年度 土砂災害防止功労者表彰

1. 趣旨

本年度の「土砂災害防止推進の集い（第27回全国大会）」が、6月2日（火）に山梨県甲府市で開催されます。その大会内において、北陸地方整備局が推薦した故藤川卓爾氏が土砂災害防止功労者として表彰されることとなりました。

2. 主な経歴

ふじ かわ たく り
藤川 卓爾 昭和29年4月3日生（享年54歳）



- 杏林大医学部卒
- 杏林大、富山医科薬科大学に勤務
- 昭和63年から実家の藤川外科内科胃腸科医院（富山市上滝）を引き継ぐ
- 平成11年から立山砂防事務所水谷診療所で月3回の診療を開始
- 平成12年から光ファイバー通信による水谷診療所での遠隔医療を開始
- 平成20年7月18日 逝去（享年54年）

3. 功績の概要

立山カルデラ砂防工事の最前線基地がある水谷平には、毎年6～11月の間、200名を越える砂防関係者が飯場等で寝食を共にし、砂防工事に従事しています。

この水谷平は、山深い僻地にあることから、怪我や病気などに対処するには2時間近く山道を下り診察を受ける必要がありました。診療所が開設され看護師が常駐する環境となった現在でも、健康管理、医療行為には限界があります。

故藤川医師は、平成11年から月に3回、定期的に水谷診療所へ赴き、健康管理、医療に携わられ、ご逝去される2日前にも水谷診療所で元気に診察されました。

この水谷診療所における10年間もの長きにわたる地道な診療活動は、院長としての病院の運営上、また時間的にも体力的にも非常に大きな負担であったと推察されますが、カルデラ内で従事する全ての砂防関係者にとって大きな安心でした。

その後、医師の指導の下、指定医療機関として登録され、緊急時には水谷診療所と藤川医院との画像伝送による遠隔医療も開始されるなど、カルデラ内の砂防事業を健康と医療の両面から長年にわたり支えられ、ご尽力された故藤川医師の功績はまことに顕著なものです。

4. 行事内容

- 場所 山梨県立県民文化ホール
- 日時 平成21年6月2日（火）13：30～17：00
- 式典
- 特別講演 「日川砂防工事がもたらしたぶどうとワインの里」
甲府市教育委員会 室伏 徹
- シンポジウム
出演者 コーディネーター：山崎 登 （NHK解説副委員長）
コメンテーター：中野 泰雄 （国土交通省砂防部長）
パネリスト：渡辺 秀樹 （根場民宿協同組合理事長）
：岡部 政幸 （丹波山村長）
：斎藤 節子 （南アルプス市社会福祉協議会総務課長）
：後藤 聰 （山梨大学准教授）

5. その他の行事

- 現地研修会 6月3日（水）
Aコース 富士川上流域の砂防事業状況等視察
Bコース 昭和41年足和田災害被災地等視察